

ICTを活用した 『分野横断法政策等フォーラム型授業』 の提案と実践

神奈川大学法学部 中村壽宏

0

Agenda

■ 概要

2019度実施の実験授業の実施結果と検討.

事実・理論・実務的知識等を構造的に体系化し，電子掲示板やマインドマップ等の手法で可視化する授業方法の提示.

■ このユニットのあらまし

- 授業モデルの内容について.
- 具体的な授業の実施方法について.
- 前年度に顕在化した問題点をどのように改善できたか.

1

前提としての認識

■ 授業モデルの目的

すべてを一人の教員が担う授業の弱点を補い、
具体的な事実から理論へ繋げるボトムアップ式の教育に向けて、
法律と他分野が絡む社会の問題を取り上げ、
複数分野の教員が参加してネット上にフォーラムを形成し、
学生に議論させる分野横断型の授業モデルの提案。

1

前提としての認識

専門領域の細分化

専門家の知識の断片化

教員は
自分が知っていることしか
教えることができない。

■ 授業モデルの進化

すべてを一人の教員が担う授業の弱点を補い、
具体的な事実から理論へ繋げるボトムアップ式の教育に向けて、
法律と他分野が絡む社会の問題
複数分野の教員が参加してネッ
学生に議論させる分野横断型の

従来の授業モデル

制 度

具体例

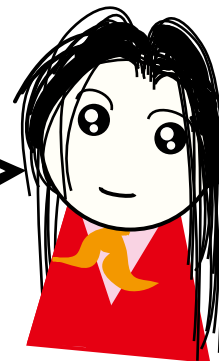
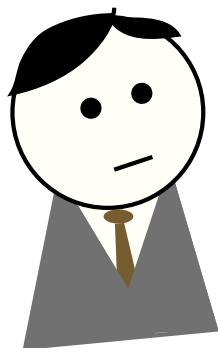
新しい授業モデル

社会的な重要問題の発見

社会的問題の解決のための制度を発見

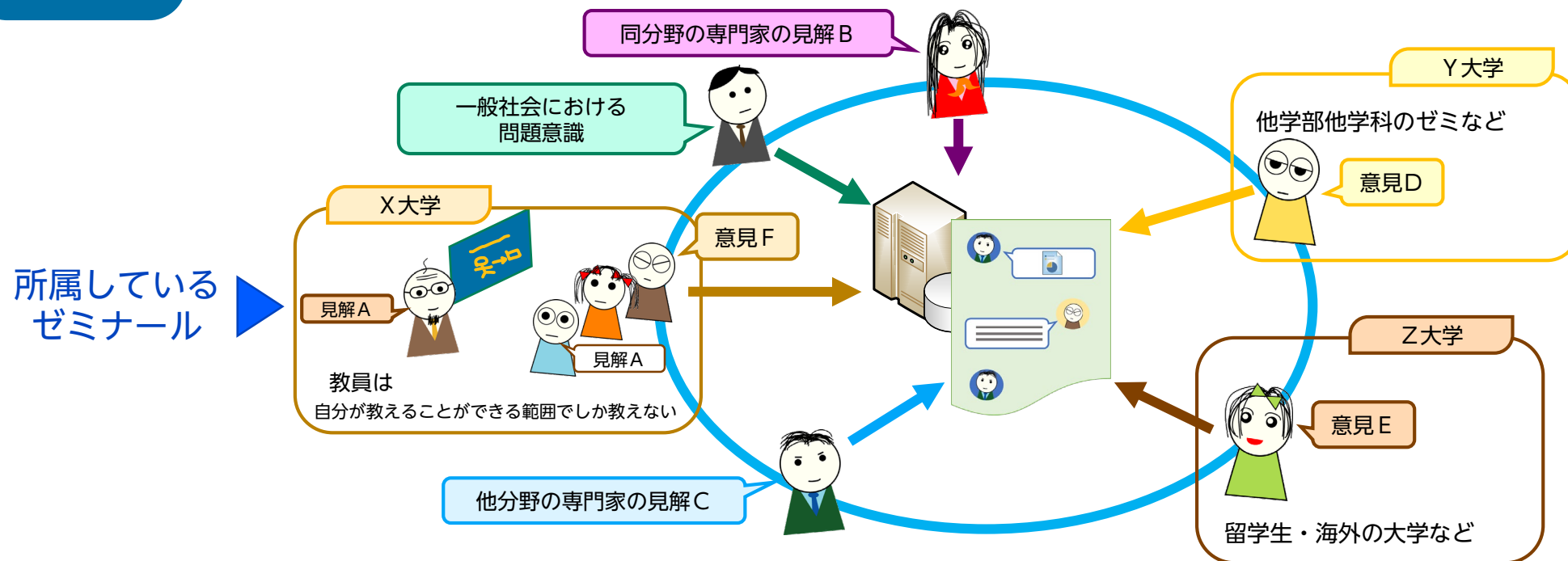
その解釈や適用方法を検討

批判的に法政策の現状を分析



2

実験授業の趣旨



対立する意見

制約条件

トレードオフの感覚

最適解の発見

倫理観

法政策フォーラム型授業モデル

論理から合理へ、
知識習得から創造的思考力の獲得へ

3

学生が獲得を目指すべき能力



① 情報調査
調査力, 情報リテラシー

② 問題発見
論理的思考力, 批判的思考力

③ 解決案の作成
合理的判断力, 発想・創造力

④ 討論
論証力, 説得力, 調整力

⑤ プレゼンテーション
文章表現力, デザインセンス

LINE

4

2019年度の実験授業のテーマ



5

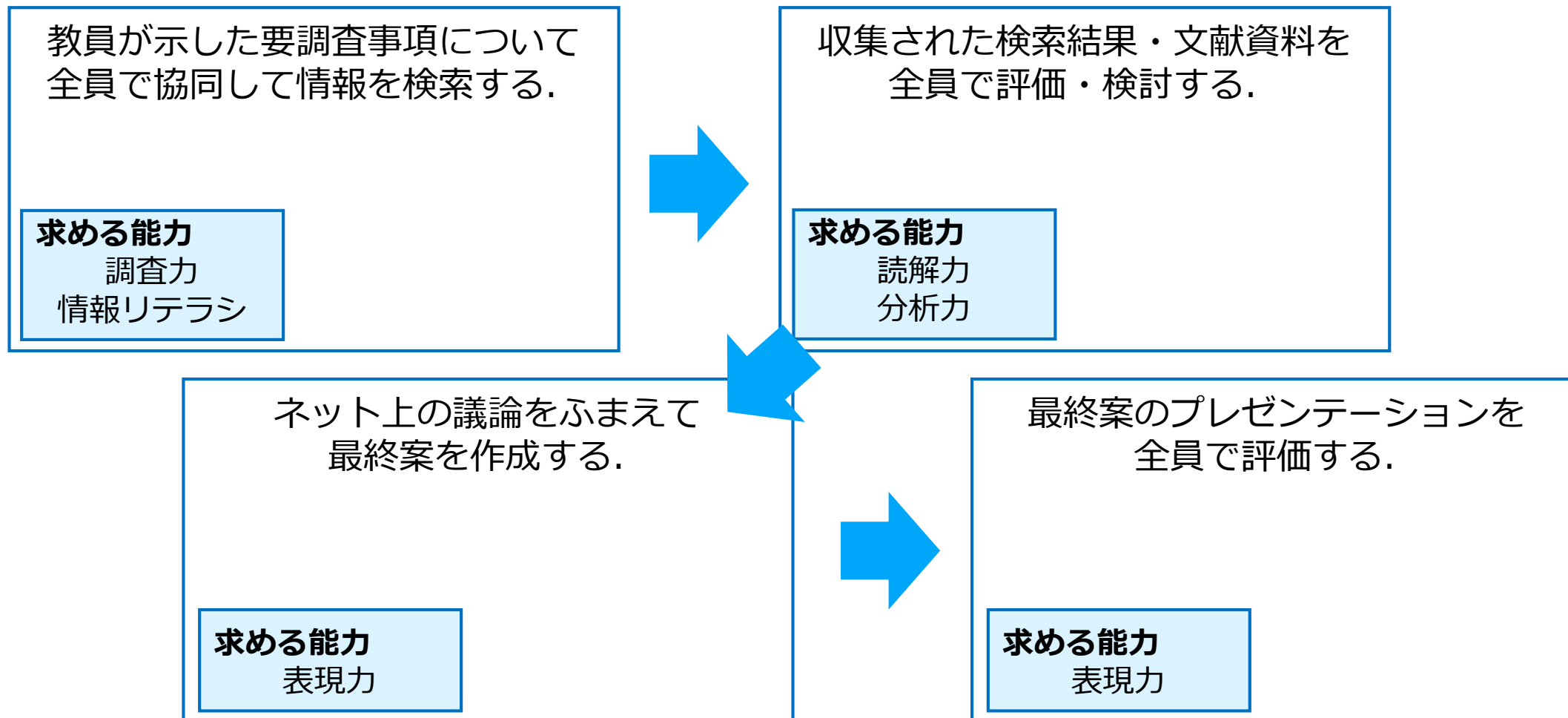
全7回の概要と目的



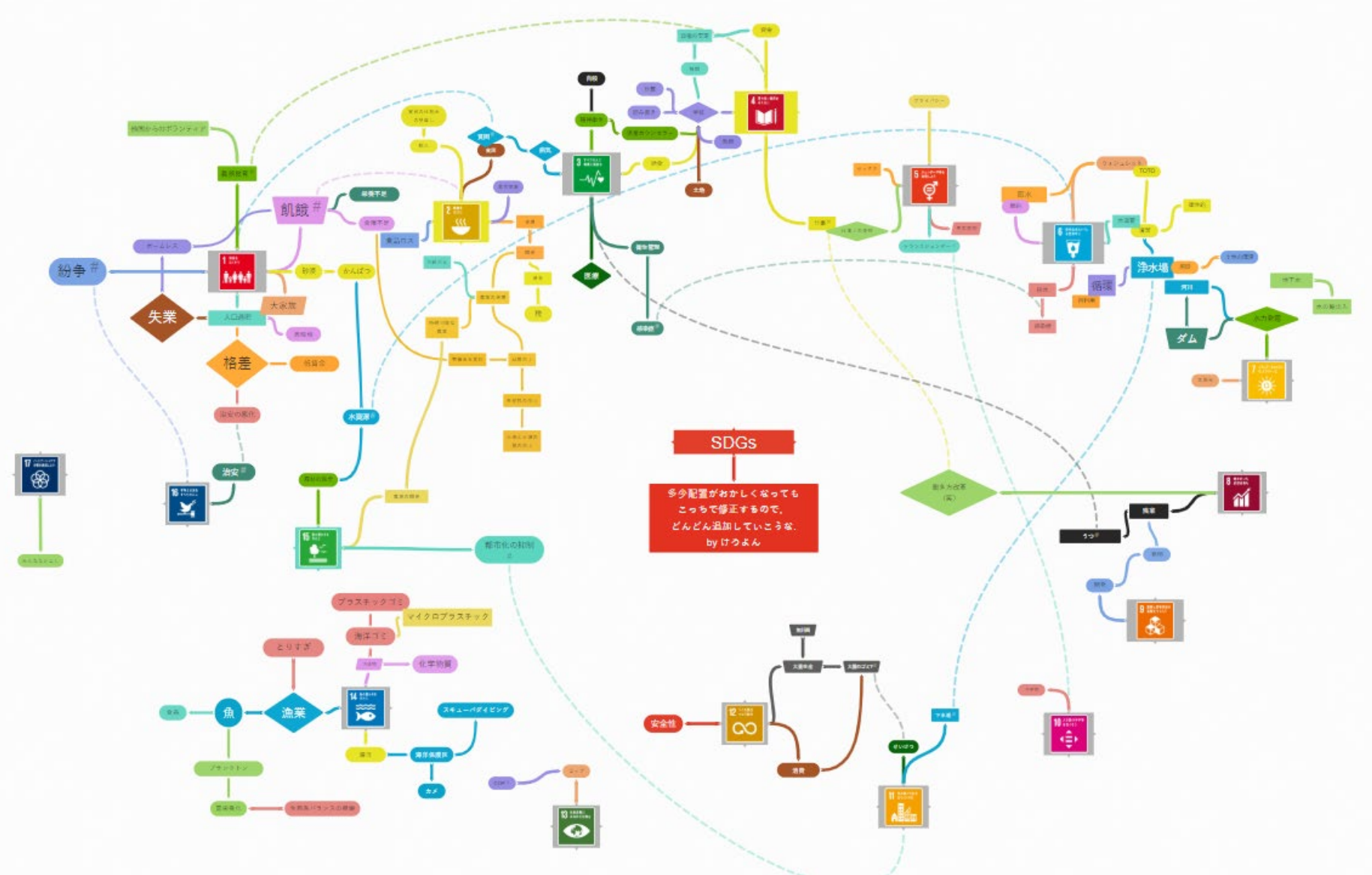
6

教室内的作業

■ 神奈川大学における実施の様子



問題意識の整理



8

掲示板での議論

桃白白 2019/11/28 (木) 09:55:28
 はじめまして。
 私は食品ロス問題に対して海の資源を守るという点からアプローチしようと考えました。
 大まかには漁獲量の制限から食品ロス削減に繋がっていこうと考えています。

おーいお茶 2019/11/28 (木) 12:34:45 >> 94
 漁獲量の制限はどのように考えてますから

桃白白 2019/11/28 (木) 14:51:43 >> 99
 漁獲量の制限を各国人口に応じて設け、その制限を超えた国から食糧的に貧しい国へ配給するという考えです。よって、インフラ設備や食糧的に貧しい国の判断など問題点はいくつかあり、これからの課題としたいです。

低気圧すな 2019/11/28 (木) 16:44:42 >> 99
 漁獲量制限したら漁業に従事している人の収入が減ると思います。
 また制限を超え、貧困国への配給したら漁業になんの利益にもならないですし漁業が圧迫されかねないと思うのですがその辺対策とがありますか？

クッキー 2019/11/29 (金) 00:35:08 >> 99
 制限をかける分漁業従事者に国から補助金や漁船の燃料費などを出すというのはどうでしょうか？

ずいん 2019/11/30 (土) 23:55:51 >> 99
 私も同じように、漁獲量に制限を設ける代わりに国から補助金を出したりして、漁業を生業とする人を救済しつつ漁獲量を調整し生態系を守りながらロスを減らせたらと思いました。

低気圧すな 2019/12/05 (木) 15:22:16 >> 99
 国から補助金を出すにしろそのお金はどこからくるのですか？税金でしょうか？

海の民 2019/11/28 (木) 14:34:36
 はじめまして。
 私は河川と食品ロスとの関連性について調べています。具体的には食品ロスによって生じ投棄された食品によって河川を汚染されることへの解決策を考察しています。

YA 2019/12/01 (日) 01:55:19 >> 102
 投棄の頻度や量を先に調べてみてはどうでしょうか。

YA 2019/12/01 (日) 02:17:09
 考えるためのメモ

フードロスの実態
 すぐ思いつく食品カテゴリーとしては、
 A 加工前の農産物等 流通条件によっては長距離・保存しての輸送が可能
 B 加工済みの食品 コンビニ弁当、飲食店が出す食事など、保存や長距離輸送が難しい
 C 保存性の良いもの レトルトや缶詰、賞味期限が設定された日持ちするもの、賞味期限が切れると販売されなくなるが、輸送して消費しても安全

対策
 A 廃棄にまわるものを出さない
 B 商品価値がなくなったが安全に食べられるものを貧困地域（国）・貧困者に譲渡

食品カテゴリーと対策の組み合わせによって方法も必要な制度も違ったものになりそうだし、実行したときに起きそうな問題も違うはず。
 分類もこれだけでは足りないかもしれないので、適当に追加しながら組み合わせごとに検討すると対策をある程度網羅できないか。優先順位の設定は廃棄量が多い順で。

どなどな 2019/12/09 (月) 02:55:53 >> 123
 スーパーとかで、廃棄直前の食材を使って調理したものをおそうざいに安く売れば良いとおもいます。
 捨てるより丸損、手間はかかるけど利益が出る。

こいつのカツカレー 2019/12/02 (月) 09:58:56
 フードバンクが盛んなアメリカなどでは、善意で寄付した食品により、事故が発生したとしても、責任を負わない免責制度「善きサマリア人の法」がありますが、日本では、国や自治体によるフードバンクへの支援が努力義務であったり、「善きサマリア人の法」の免責制度の設定には至っていません。

TAKASHIMA 4a0c8ebaac 2019/12/02 (月) 10:04:52 >> 132
 すでにpeachさんが以下のように指摘しておられますが、日本の民法の贈与契約における551条と善きサマリア人の法との関係はどうなるのでしょうか。
 →民法551条（贈与者の担保責任）を使って考えることができ、これによると、「贈与者は、贈与の目的である物又は権利の瑕疵又は不存在について、その責任を問わない。ただし、贈与者がその瑕疵又は不存在を知りながら受贈者に告げなかったときは、この限りでない。」と、条文に記載されており、責任の所在は日本の方が明確にされていると考えました。

8

掲示板での議論

-  **だふ** 2019/12/02 (月) 15:43:03
144
はじめまして！食品ロスとSDGSの13「気候変動に具体的な対策を」の関係についてやりたいと思います。ですが、どのようにSDGSを組み込めばいいのか分からず悩んでいます。
-  **豆大福** 2019/12/02 (月) 18:36:31 >> 144
145
私は気候変動についての対策としては、気候変動に左右されにくいとされる養鶏業を用いられたいと考えていました。なにが参考になれば嬉しいです。
-  **だふ** 2019/12/02 (月) 18:59:28 >> 144
146
ありがとうございます！参考にさせていただきます！
-  **Kaji** 2019/12/03 (火) 00:43:19
147
こんばんは。初めまして、市井の庶民です。仕事柄、食品ロスについてはフードバンクの主催者からお話を聞いたりしているので、何かの参考になればと思い、書き込みをします。
全然、的外れなことを言うかもしれませんが、ご容赦を！
まずは、農林水産省でのフードバンクについての実態調査があるので、それも見ていただきたいと思います。
http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/attach/pdf/161227_8-38.pdf
結構しっかりとした調査のように思います。
で、個人的にお話を聞いたのは、NPO法人 フードバンク北九州ライフアゲイン です。ここは、ファミリーサポートも同時にされているところです。そこで、非常に心に残った言葉は、「私は、家庭に戻れない人々の支援をしてきました。その中で某企業の好意により食料をいただくようになりました。その中で食品が大量に廃棄されている現実に出会い、まだ食べられる食品を廃棄する社会構造は、弱者を切り捨てる社会を映し出しているように思えたのです。」でした。
また、釜ヶ崎に取材にいったときは、「メタボで肝機能の病気を抱えた人が増えた、これは、コンビニで売ったお弁当を分けてもらって、そのこと自体はありがたいが、食べ続けてしまった結果なんです」という社会福祉事務所の方の話も聞きました。
何が言いたいかというと、食品ロスだけが浮かないように、と思うのです。食の安全や、そのシステムのどこに問題があるのか、だいたい、自給率が毎年減り続け、37%になっている一方で、廃棄される食品が恐ろしい量になっていること、また、日本の農家の人々は、災害などでますますダメージを受けていること、これは、生産から消費、食育までを一貫とした見たコンセプトがないからでは？SDGsも別個に扱うよりは、一絡げでみたいと思うのですが。
例えば、スイスのMigros は企業から生協の形態に移った、珍しい例ですが、日本でもコープがやっているように、生産者との直接仕入れから始まり、オーガニックに力を入れ、個人商店をフォローしつつ、消費者の食と安全をモットーに、食品ロスを減らすための広告もあります。また人々のライフ・クオリティを充実させることも一つのスローガンで、ハローワークのようなこともしています。
<https://www.sap.com/japan/documents/2019/09/3c48ffc5-657d-0010-87a3-c30de2ff8ff.html>
<https://www.migros.ch/de.html> (ドイツ語かフランス語かイタリア語のみ)
何か、こういった一貫したシステムチックな基盤があればとか、思うのですが。日本には、こういった団体はあるのでしょうか？
また、ドイツでは、アプリで一流のレストランが9時以降に半額以下にするキャンペーンをやっているようで、そんなと

-  **クッキー** 2019/12/08 (日) 14:54:42 >> 162
163
組織はSDG s が主体の組織とする。この組織を中心に食品ロスの提供が可能な企業等をネットで募る。提供会社には補助金等のメリットを与える。食品ロスの回収後の処理は瞬間冷凍や熱処理を行う。運搬は距離によってドローンや飛行機等を使い分ける。

国内で食品ロスを無くす取り組みとしては、生ゴミの排出量に応じて「生ゴミ税」を課す。税金が課されるのは一定量を超えた場合に課す。
-  **綾鷹** 2019/12/08 (日) 23:36:49 >> 163
164
貧困と食品ロスを同時に無くすため、国内で発生した食品ロスを貧困国に譲渡する、国内では、生ゴミを過剰に発生させた側に、生ゴミ税を課す、食品譲渡スーパーを設立する。という案が出ました。
-  **うどん** 2019/12/09 (月) 09:42:16 >> 163
169
譲渡の方法、費用の負担の所在はどのような案が出ましたか？また、生ゴミ税は家庭と企業、企業と企業でかなり差が出ると思いますが、そのあたりはどう考えますか？
-  **ずいん** 2019/12/10 (火) 17:22:18 >> 163
176
生ゴミ税いい案だと思いますが、どのように生ゴミの量を確認するかが問題だと思いました。自己申告制だと虚偽の申告をしたりする事案が発生しそうですし、かと言って職員をそれぞれに回すのも手間がかかりそうです。
-  **クッキー** 2019/12/10 (火) 21:03:54 >> 163
177
生ゴミ税は企業と家庭で分けるつもりです。低所得の家庭の方は免除する方向です。(そもそも低所得の家庭は食品が無駄になる程の購入は難しいのでは？と言う話が班で出ました。)
税額に差が出ることにについては、差が出ることで「食品の無駄を無くそう」という気持ちを進捗できるかと思っています。また、生ゴミ税を利用して低所得家庭の支援等が出来ればと考えています。
生ゴミの量にしましてはまだ良い案が出ていません。何か良い案があれば是非投稿をお願い致します。

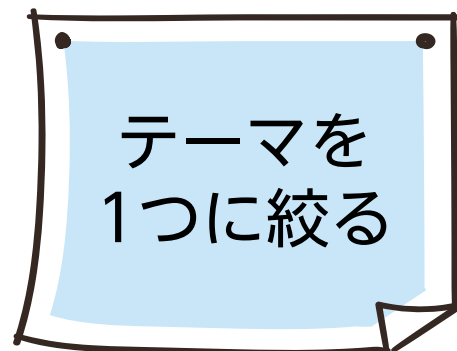
海外に食品ロスを譲渡する費用は日本のSDG s 加盟企業・譲渡受け入れ国で負担割合を決めるのが良いかと思っています。(割合はまだ決めていません)
加盟企業には国から補助金を出します。この補助金は税金を使いたいと思います。
日本国民も海外に食品を譲渡するために税金を使われるより、国内の企業の補助金として利用される方が納得してもらえるとしました。
-  **syoyuri** ★★ 90c4c7fcac 2019/12/09 (月) 01:29:01
165
小豆島の消費生活相談員です。京都産業大学にお邪魔した際は、皆さんの議論に交えていただけてありがとうございました！
先日、適格消費者団体KC' s の研究会 (http://www.kc-s.or.jp/detail.php?n_id=10000956) に参加して、様々な事業者の取り組みについて学ぶことができました。
そこで、凸版印刷株式会社関西事業部の方から食品ロス削減につながる興味深い取り組みを教えていただいたのでご紹介させていただきます。

9

2018年度の反省点と改善

問題点 1	予定通りにすすまない	
原因	慣熟期間が足りない	機器トラブル
	ICT機器やネット掲示板の利用方法の慣熟に、2コマ程度必要だった。	情報教室管理部門を信用しすぎた。
改善案	テーマは2つに絞る	事前確認と調整

問題点 2	大学間連携が困難な事態に	
原因	学生が参加しない	教員のスケジュール
	ボランティア参加だった。人見知り？	これはやむなし
改善案	インセンティブ 大学間のアイスブレイク	事前確認と調整



改善ほぼ達成



改善達成

9

2018年度の反省点と改善

問題点 3	市民・外部有識者と意識が乖離	
原因	有識者・市民が遠慮	有識者・市民が多忙
	自分達は学生評価に責任が持てない.	学生の投稿を読むだけでもけっこう時間がかかる.
改善案	有識者の投稿への返答にプレミアムを設定. 最優秀投稿の評価を委託.	教員が学生の議論をまとめて提供する.

問題点 4	学生が発言を抑制する	
原因	成績評価への影響を懸念	消極性
	教員の言葉は「タテマエ」で、 なにがどう評価されるのか不安になる.	少なくとも教員には 学生が特定されているので、 奔放な発言ができない.
改善案	発言に随時ポイントを与え、 評価を「可視化」する.	復元（連結）可能匿名化と教員以外の評価人の設定.

有識者に
趣旨が浸透



改善中



改善達成

匿名化と
平常点

ToshihiroNakamura
2019



KU